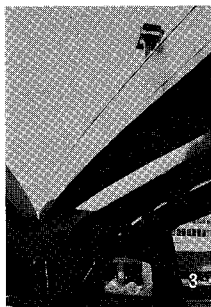
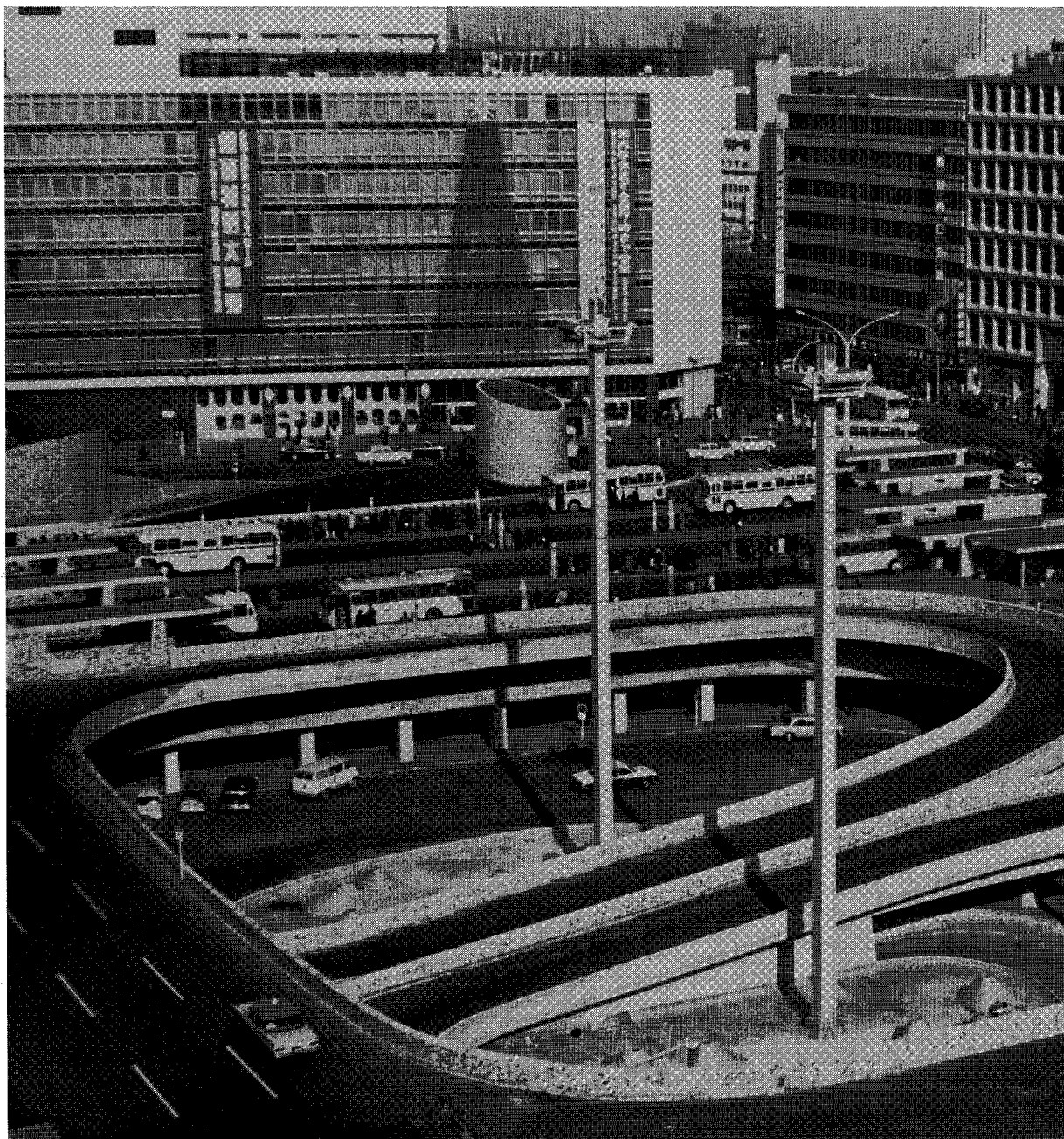


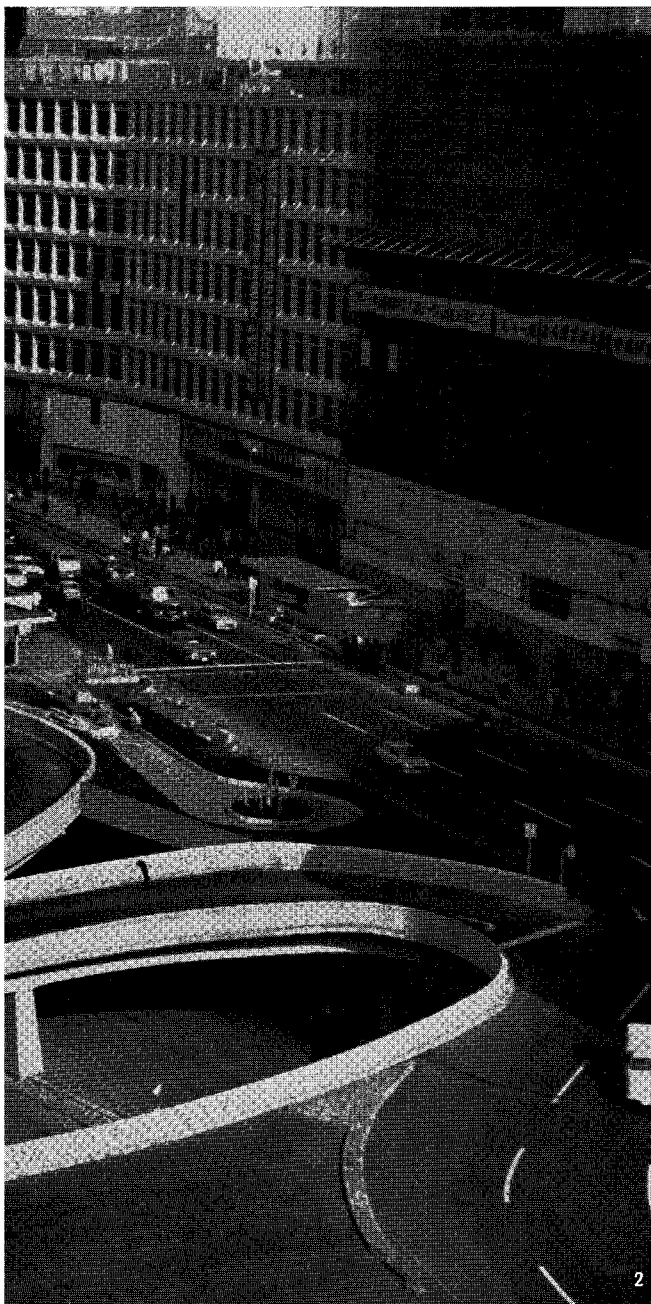
新宿副都心「西口広場」完成





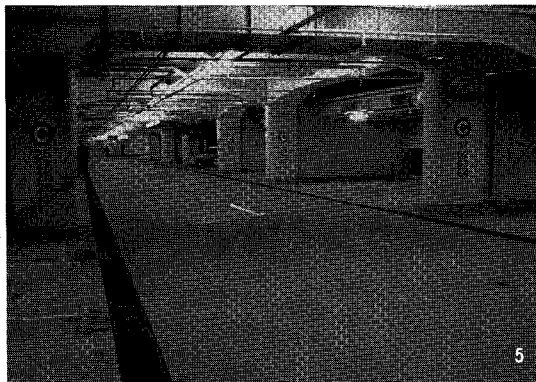
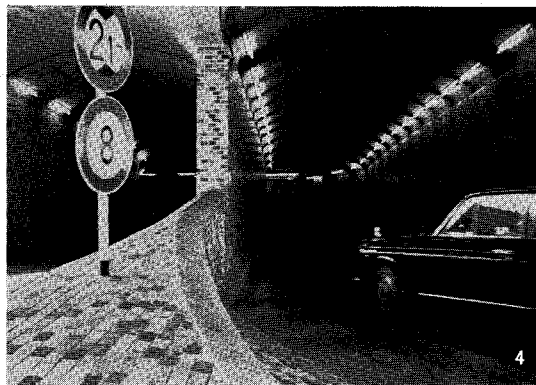
限界にきた一点集中型の東京を多心型の都市構造に再編成する一環として、2ヵ年の歳月と約48億円の工事費をもって建設中であった「西口広場」が、昭和41年11月25日完成、利用者の便をはかることとなった。東京・新宿駅は、国鉄、地下鉄、小田急、京王の鉄道機関が集中、一日の乗車人員は約160万人といわれるだけに、今回完成をみた西口広場は混雑解消に大きな働きをするものと期待されている。

立体的な構成を主体とする本広場建設の最も大きな特長は、広



写真説明

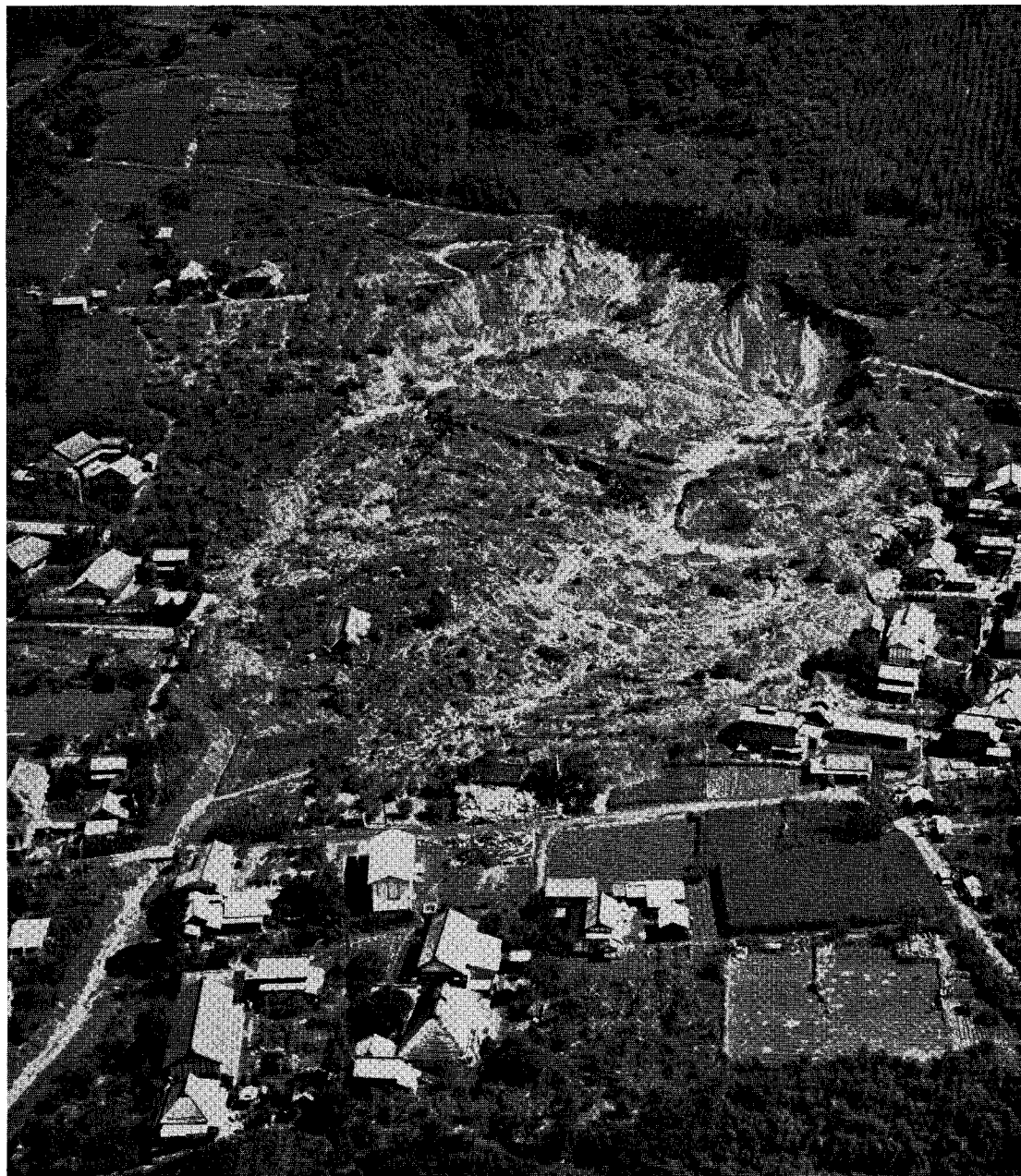
- 1 地下1階、タクシー乗車場付近より照明塔を望む。照明塔直下の山状の突起は噴水口である
- 2 西口広場全景。左正面小田急百貨店、右側ビル群の裏が国鉄各線、写真右隅部に小田急、京王帝都の各私鉄駅、工事中のビル左側の地下辺に地下鉄線が乗入れている
- 3 地下1階中央の自動車誘導路
- 4 地下1階から地下2階の有料駐車場入口を望む
- 5 有料駐車場



場中央部に設けられた直径約 60 mの大開口部で、この種のものとしては世界でもめづらしいものといわれる。すなわち、バス以外の自動車を地下一階に直接乗入れるよう配慮されたことから発生する排気ガスの問題、換気方式、防災、交通動線、構造、美観および経済性等を考慮して本形式を採用したといわれる。ただし、給気は機械方式により、排気は自然換気とした。詳細については、本文ニュース欄を参照されたい。

松代で地すべり 発生

長野市松代町付近を震源地とする松代群発地震は、昭和40年8月3日に発生以来現在も引き続いて発生しており、昭和40年8月当初においては、多い日でも270~280回くらいであったものが、昨年3月から5月にかけて、多い日には6000回以上発生、有感地震だけでも一日600回以上に達し、住民の他に大きな不安、被害を発生せしめている。この間にあって昭和41年9月17日、長野県松代町牧内、瀬閑、滝本、加賀井の各地点で発生していたきれつのうち、牧内部落のきれつ幅が増大、毎分4m³の湧水をみたが、14時7分標高500m地点のきれつから、幅200mにわたって地すべりが発生、約150m流下した。最近の本地震の概況、および地すべりの詳細については、本文ニュース欄を参照されたい。



写真提供・長野県広報民室

土木技術者
のための

岩盤力学

岩質の地盤はさまざまな重要な土木構造物の基礎になっている。トンネル、ダム、地下発電所、橋梁などその例は数多い。

本書では、土木地質学、岩石の力学的性質、岩盤の強度および変形に対する理論的あるいは模型実験的解析法、岩盤の性質におよぼす透水の影響、斜面安定、掘削、ダム、トンネル等に対する岩盤力学の応用および最近の重要な研究紹介などをできるだけ平易に解説しました。とくに岩盤力学を使って設計施工が行なわれたわが国の工事例を多数集録したのが本書の特色であり、ぜひご一読下さるようおすすめします。

内 容：第1章 地質／第2章 岩石の性質／第3章 岩盤の試験／第4章 水と岩盤／第5章 岩盤力学における理論計算／第6章 すべり安定の計算／第7章 模型実験／第8章 掘削／第9章 ダムへの応用／第10章 トンネルへの応用／第11章 施工中および施工後の測定／第12章 最近の基礎的研究のすう勢

体 裁：B5判 本文8ポ一段 489 ページ

定 価：3600 円 会員特価：3000 円 送料：200 円

土木技術者
のための

振動便覧

本書は、土木工学に関係ある振動問題は新技術も含めてもれなくとりあげ、内容は基礎編と応用編に分け、基礎編では共通の問題、応用編は振動原因ごとにとりまとめてありますので、ただ単に振動学に興味をもたれる人ばかりでなく、一般の方々も啓蒙の書としてぜひご一読下さるようおすすめいたします。昭和41年度夏期講習会テキストにも使用の最新刊書です。

内 容

基 礎 編 ■ 第1章 振動理論／第2章 地盤の振動／第3章 構造物の振動／第4章 流体を含む系の振動／第5章 振動測定および各種解析法／第6章 土と材料の動的性質

応 用 編 ■ 第7章 地震による振動／第8章 風による振動／第9章 水による振動／第10章 車による振動／第11章 機械による振動／第12章 衝撃的現象／第13章 振動の利用

付 録 ■ A1 耐震規定／A2 耐風設計規定／A3 構造物の固有振動数／A4 構造物の対数減衰率／A5 振動に対するじょ限度

体 裁：A5判 450 ページ

定 価：2400 円 会員特価：2000 円 送料：150 円

学生・技術者に贈る土木学会の優良図書！

■土質実験指導書改訂版 体裁 B5判 本文 65 ページ データーシート 26 葉 定価 320 円 (〒 70 円)

内 容：土質実験指導書が刊行されてから3年……この間多くの学校や職場で実験指導参考書としてご利用いただき好評をえております。今回の改訂では各使用者の声を取り入れ、従来の15項目に新たに「土の3軸圧縮試験方法」をとり入れ16項目とし、それぞれの項目を1. 目標、2. 試験器具、3. 試料、4. 試験方法、5. 計算および結果の整理、6. 注意事項、等々に分けて解説し、必要に応じて設問を設けるとともにデーターシートの記入例をとり入れましたので、広くご利用下さるようご案内いたします。

■土木材料実験指導書改訂版 体裁 B5判 本文 140 ページ データーシート 56 葉 定価 360 円 (〒 70 円)

内 容：土木関係で使う材料は多く、その用途は多方面にわたっているが、これらの材料はそれぞれ適性な試験をもって適否の判断をしなければなりません。本書は現在土木関係で使われている材料を、1. セメント、2. 骨材、3. コンクリート、4. 鉄筋、5. アスファルト、の5つに分け、それぞれに対するいろいろな試験方法を解説したものであり、巻末には試験結果を整理できるデーターシートをとり入れましたので、学生をはじめ現場の技術者には非常に便利な実習書です。

■水理公式集 体裁 A5判 603 ページ 定価 1400 円 (会員特価 1100 円) (〒 150 円)

内 容：水理公式集の初版が刊行されたのは昭和17年……それ以来土木学会の水理公式集として親しまれ、土木を学んだ人々は必ず読んだ本です。昭和38年に増補改訂された本書は第1編 河川、第2編 発電水力、第3編 上下水道、第4編 港湾および海岸の4つの大項目を7~11の中項目に分け、それらを詳細に解説したもので、世界でも珍しいユニークな公式集です。

■日本の土木技術 — 100 年の発展のあゆみ —

体裁 A5判 488 ページ

定価 1200 円 (〒 150 円)

内 容：日本の今日における輝かしい土木技術発展の蔭には、明治初期から約100年にわたる多くの先輩方の努力を見逃してはなりません。本書は従来あまり見られなかった土木技術史の領域に目を向け、現在を力強く支えている数々の貴重な業績を新しい体系で追ったきわめてユニークな書籍です。若い技術者とくに、これから土木工学の真髄をきわめようとする学生諸君、建設会社に就職された一般の新入社員に、土木とは何か、そして土木のなすべき仕事は何だろうか、という問題意識を高めるとともに、土木を理解する上に貴重な参考書ですので、学校、会社関係でまとめてご利用下さいますようご案内申し上げます。なお、本書には貴重な写真が沢山とり入れてあり、今後このような写真を網羅した本の編集は不可能に近いと信じます。

■日本土木史 — 大正元年～昭和15年 —

体裁 B5判 8ポ横一段組み 本文 1770 ページ 図 410 葉 表 500 点

写真 150 枚余 上製箱入革製豪華製本

定価 12000 円 (個人会員に限り割引特価あり)

内 容：第1章 河川・運河・砂防・治山／第2章 港湾・漁港・航路標識／第3章 農業土木／第4章 都市計画・地方計画／第5章 道路／第6章 軍事土木／第7章 上水道・下水道および工業用水道／第8章 土木行政／第9章 建設機械／第10章 トンネル／第11章 発電水力およびダム／第12章 鉄道／第13章 水理学／第14章 応用力学／第15章 土性および土質力学／第16章 測量／第17章 土木材料／第18章 コンクリート／第19章 土木教育史／第20章 学・協会史／付・日本土木史年表

■ディビダーク工法設計施工指針 (案) — コンクリート・ライブラリー No. 15 —

体裁 B5判 88 ページ

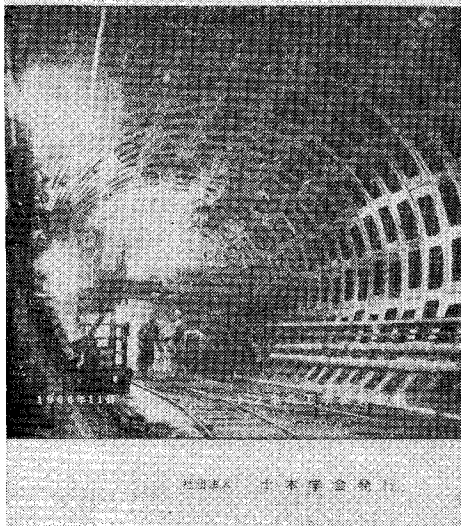
定価 700 円 (会員特価 500 円) (〒 80 円)

内 容：■1編 総則■2編／1章 材料の品質／2章 コンクリートおよび鋼材の試験■3編 施工／1章 施工一般／2章 グラウト／3章 工事記録■4編 設計／1章 設計に関する一般事項／2章 構造細目／3章 曲げ応力に対する計算／4章 破壊に対する安定度／5章 せん断応力に対する計算／6章 許容応力度■付：ディビダーク工法設計・施工の参考

編著者名	図書名	判型	ページ数	会員特価	定価	送料	備考
土木学会編	土木学会創立 50 周年記念出版 日本の土木技術 —100 年の発展のあゆみ—	A 5	488		1 200	150	箱入上製
同	土木学会創立 50 周年記念出版 建設/創造/技術(写真集)	A 4	280		3 800	200	彰国社刊
同	プレストレスト コンクリート設計施工指針	B 6	124	250	350	70	
土木学会編	工事報告・川俣アーチダム	B 5	346	1 600	2 000	150	口絵 6 ページ
九州電力KK編	工事報告・一ツ瀬 杉安 アーチダム	B 5	550	2 300	2 900	150	口絵 2 ページ
電源開発KK編	工事報告・大鳥セミアーチダム	B 5	266	1 200	1 400	150	付図 11 枚
関西電力KK編	工事報告・黒部川第四発電所	B 5	1 360	9 800	12 500	300	付図 36 枚
土木学会編	新潟地震震害調査報告	B 5	904		10 000	300	箱入上製
日本道路公団編	若戸橋調査報告・工事報告書 〈昭和 39 年度土木賞受賞〉	B 5	二冊合計 2 350		30 000	学会負担	タイプオフ 限定出版
日本道路公団編	関門トンネル工事誌	B 5	692	1 500	2 000	200	
土木学会編	トンネル標準示方書	A 5	34		100	40	示方書条文
同	トンネル標準示方書解説	A 5	138	500	600	50	条文を詳細に解説
同	トンネルと掘削工法	B 5	342	650	800	100	14編を収録
同	トンネル工学シリーズ 1 第 1 回トンネル工学 シンポジウム	B 5	106	300	400	50	6編を収録
同	トンネル工学シリーズ 2 最近のトンネル工学 —工事の実例と話題—	B 5	136	400	500	50	6編を収録
同	昭和 40 年度夏期講習会資料 構造工学における最近の諸問題	B 5	320	1 200	1 500	150	12編を収録
同	最近の基礎工法	B 5	322	800	1 000	120	10編を収録
同	土木年鑑・1967	B 5	485		3 500	学会負担	鹿島出版 刊

トンネル工学シリーズ 3

第3回トンネル工学シンポジウム



体 裁：B 5判 本文 146 ページ
定 価：1000 円 (〒 100 円)
会員特価：800 円 (")

トンネル工学シリーズ 3

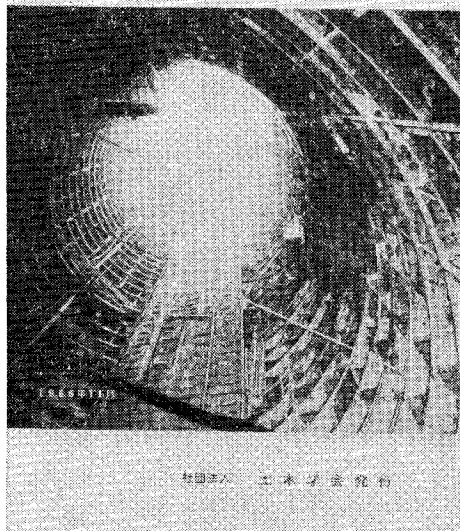
第3回トンネル工学シンポジウム

本書はトンネル工学シリーズ3として、最近のトンネル工学の問題点を解説するとともに、最近完成した栗子トンネルの報告や青函トンネルにおけるウォールマイヤー式トンネル掘削機の掘削試験、大阪・東京におけるシールド工事の実施例や計画・現況について解説してありますのでご一読下さるようおすすめします。

内 容 ■トンネル土圧／村山朔郎 ■トンネル土圧の測定方法と現況／高橋彦治 ■トンネル用鋼アーチ支保工の強度について／坂本貞雄・伊吹山四郎 ■トンネル掘削における余掘りの実態について／住友 彰・南部繁春・峰本 守・高山 昭・今西誠也・渡部 雅 ■セグメントの設計について／山本 稔 ■栗子トンネルの工事計画と施工実績について／山本 元 ■国鉄親不知トンネルの施工実績について／北村 章 ■青函トンネルにおけるウォールマイヤー式トンネル掘削機の掘削試験について／天野礼二 ■大阪地下鉄線複線型と単線型シールドの実施例と問題点／宮内義人 ■シールド工法における駅部の施工計画について／西嶋国造・遠藤浩三 ■わが国における中小口径シールド工事の現況について／中川義徳・松岡正次・吉川新吉

トンネル工学シリーズ 4

わが国シールド工法の実施例・第1集



体 裁：B 5判 338 ページ・表 117・図 218
定 価：2200 円 (〒 100 円)
会員特価：1800 円 (")

トンネル工学シリーズ 4

わが国シールド工法の実施例・第1集

最近のシールド工事にはめざましい進歩があります。日本における最も古いシールド工事は大正6年5月から大正13年4月にかけて国鉄折渡トンネルにおいて行なわれました。それから約半世紀を経た今日まで日本では158件のシールド工事が実施されております。

本書では、この158件の工事例を、まず項目別に第I部から第VI部までをそれぞれ「工事概要」、「設計および実績」、「セグメント」、「シールドおよび附属機械」、「工所用機械その他」、「主要な図表類」とわけて分類し、つづいてこれらを企業別に「鉄道および道路」(計19件)、「下水道」(計53件)、「上水道」(計49件)、「電力および通信」(計30件)、「地下道その他」(計7件)に分け、これらを施工年次の古いものから配列し、巻末に付図として各データの相関関係がわかるように適宜プロットしたグラフを掲載してありますので非常に便利なデータブックであるとともに、シールド工事の歴史が一目で歴然とわかります。ぜひご覧の上活用下さるようおすすめします。